



「くだらん!」。すでに死去

して20年になる父が口癖のように言っていた言葉だ。私などが子どもの頃成績が悪かったり、失敗したりするといつもこの言葉があり、ついでに手もよく出ていたような記憶

がある。その後「くだらない」の語源を知ったときはいろいろな意味で新鮮な思いだった。



草野 義輔

ご案内の通り明

治になるまで日本の中心地であった上方⇨京、大阪で造られたお酒などの品質は上等で、徳川幕府から中心になった江戸⇨関東の製品は上方から見て「下らない」もの。つまり品質が悪い、ということが語源と聞いている。私は高校が東京だったので受験時は東京以外の大学を受け

ると都落ち、などとやゆされていたが、元来都は京都を指していたはずなので私は上落だ、などと言葉遊びをしていた。

先日ある全国紙の休日版に食パンの人気店ランキングが掲載されていた。1位は大阪市の店、2位が神戸市、3位は宝塚市、とあり以下4位、7位、9位、

10位と関西がトップ10中七つを占めていた。今日ではネットでの購入が可能な店も多く、かつ全国展開の店もあるので田舎にいても注文は可

能だ。それにしても関西が多くを占めている、ということは今でも「くだらない」伝統は生きている、ということがどううか。東京一極集中の今、こんなことを見つけてつい喜んでしまっている。

(昭和学園高校理事長・日田市)